

# 江戸の敗者たち

会期 2021年4月15日(木)～5月16日(日)

※作品は記載のあるもの以外太田記念美術館所蔵です。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

絵師名	作品名	年代
1F 小林清親	菅公配所之図	明治35年(1902)2月
楊洲周延	彫画共進会之内 総州猿島内裡図	明治17年(1884)12月10日
歌川広重	義経一代図会 発端 三子を伴て常盤御ぜん漂ろうす	天保5～6(1834～35)頃
歌川芳房	清盛布引滝遊覧義平靈難波討図	安政3年(1856)2月
勝川春英	新板浮絵 石橋山合戦図	文化3年(1806)8月
歌川芳虎／歌川重清	書画五拾三駅 伊勢 石薬師 逆桜	明治5年(1872)10月
月岡芳年	平清盛炎焼病之図	明治16年(1883)8月
歌川広重	巴御前	文政元～3年(1818～20)頃
歌川広重	義経一代記之内 義経智略一の谷鶴越逆落し	天保5～7年(1834～36)頃
歌川芳雪	薩摩守忠度	個人蔵 天保15～弘化2年(1844～45)頃
歌川国貞(三代豊国)	初代河原崎権十郎の太夫あつ盛 四代目中村芝翫の熊谷直実	文久2年(1862)3月
歌川豊国	浮絵八嶋合戦之図	寛政元～5年(1789～93)頃
歌川芳虎	西海蟹女水底ニ入テ平家ノ一族ニ見	天保15～弘化2年(1844～45)頃
2F 月岡芳年	源平盛衰記堀川夜征	元治元年(1864)8月
歌川国芳	小倉擬百人一首 和泉式部 悪七兵衛景清	弘化3年(1846)頃
月岡芳年	大日本史略図会 第九十四代後醍醐天皇	明治13年(1880)
歌川芳虎	楠正成熱湯を濯せて三十余万騎の大軍を悩す図	嘉永2年(1849)頃
豊原国周	楠正成	明治26年(1893)
歌川芳艶	楠正行討死之図	個人蔵 文久元年(1861)6月
月岡芳年	桶狭間合戦 稲川義元朝臣陳没之図	元治元年(1864)3月
歌川芳虎	名将四天鑑 小多春永公	元治元年(1864)9月
歌川芳房	兄川合戦ノ図	安政6年6月
月岡芳年	徳川治績年間紀事 初代 安国院殿 家康公	明治8年(1875)頃
二代歌川国綱(二代国輝)	天目山勝頼討死ノ図	文久元年(1861)5月
歌川国芳	太平記英勇伝 十八 松永大膳久英	嘉永4年(1851)頃
歌川豊宣	新撰太閤記 此人にして此病あり	明治16年(1883)6月
名取春仙	初代中村吉右衛門の馬だらひ光秀	大正14年(1925)5月
月岡芳年	京都四条夜討之図	元治元年(1864)3月
月岡芳年	月百姿 山城小栗栖月	明治19年(1886)2月
月岡芳年	太平記小牧山大合戦	慶応元年(1865)5月
歌川芳艶	瓢軍談五十四場 五十二 他伝政峯降参してはからず久吉の陣営を見聞す	元治元年(1864)10月
月岡芳年	月百姿 おもひきや雲みの秋のそらならて 竹あむ窓の月を見んとは 秀次	明治22年(1889)12月
落合芳幾	太平記英勇伝 八十七 岸田光成	慶応3年(1865)正月
落合芳幾	太平記英勇伝 七十九 大谷刑部小輔吉隆	慶応3年(1865)頃
月岡芳年	太平記美濃霧中大合戦	慶応2年(1866)9月
月岡芳年	魁題百撰相 島左近友之	明治元年(1868)8月
楊斎延一	家康大仁村難戦之図	個人蔵 明治20年代(1888～97)頃
月岡芳年	魁題百撰相 滋野左エ門佐幸村	明治元年(1865)12月
歌川国貞(三代豊国)	「仮名手本忠臣蔵」四段目	個人蔵 万延元年(1860)6月
歌川芳艶	義士夜討ノ図	安政4年(1857)9月
歌川広重	忠臣蔵 夜討	天保7～9年(1836～38)頃
B1 月岡芳年	東叡山文珠楼焼討之図 慶応戊辰五月十五日	明治7年(1874)12月
肉亭夏良	白虎隊英勇鑑	明治7年(1874)11月
月岡芳年	鹿兒嶋征討全記之内 於城山隆盛以下最期図	個人蔵 明治10年(1877)10月
松月保城	夢西郷将論	明治11年(1878)1月
守川周重	西郷隆盛 五代目坂東彦三郎	明治10年(1877)
歌川豊国	「菅原伝授手習鑑」車引	寛政8年(1796)7月
豊原国周	五代目大谷友右衛門の入鹿大臣	明治2年(1869)9月
歌川国貞(三代豊国)	小倉擬百人一首 前大僧正慈円 大伴黒主 小町桜	弘化3年(1846)頃
歌川国貞(三代豊国)／歌川広重	双筆五十三次 亀山	安政4年(1857)4月
歌川豊国	七代目片岡仁左衛門の京極内匠 三代目市川八百蔵の毛谷村六助	寛政8年(1796)9月
月岡芳年	芳年武者牙類 當麻蹴速 野見宿祢	明治16年(1883)
月岡芳年	義経記 五條橋之図	明治14年(1881)
小林清親	宇治川佐々木高綱梶原景季水馬図	明治31年(1898)9月
二代歌川芳宗	撰雪六六談 忠信なる哉	個人蔵 明治25年(1892)
大森善清	「よろひ桜」ろ 五良時宗 朝比奈	元禄16年(1703)頃
歌川国貞(三代豊国)／梅素亭玄魚	見立三十六句撰 ふ破伴左エ門 名古や山三	安政3年(1856)11月
勝川春好	江戸三幅対	天明後期(1785～89)頃
勝川春亭	桃太郎 金太郎	文化(1804～18)頃
柳川重信	手拭引	文化11年(1814)頃
落合芳幾	善悪思の案内	万延元年(1860)12月